

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第34週 > 手足口病 - 定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加した後、第30週からほぼ横ばいで推移したが、第33週から減少している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-6

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 2004年第34週の現段階での報告数は202例で、1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移している



病原体情報
P.7-8

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年



速報
P.9-10

今夏の手足口病、ヘルパンギーナ患者からのウイルス検出状況 - 愛知県 / 今夏のエンテロウイルス検出状況 - 愛媛県



海外感染症情報
P.11-13

ドイツでの海外渡航関連A型肝炎患者の発生: 国際的警告 / 中国での鳥インフルエンザ流行 / スーダンでのE型肝炎流行 / ギニア、マリ、スーダンで新たなポリオ患者が確認された



感染症の話
P.14

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(34週)
P.15-21



34週のデータ
P.22-31



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第34週コメント > 8月26日集計分

全数報告の感染症

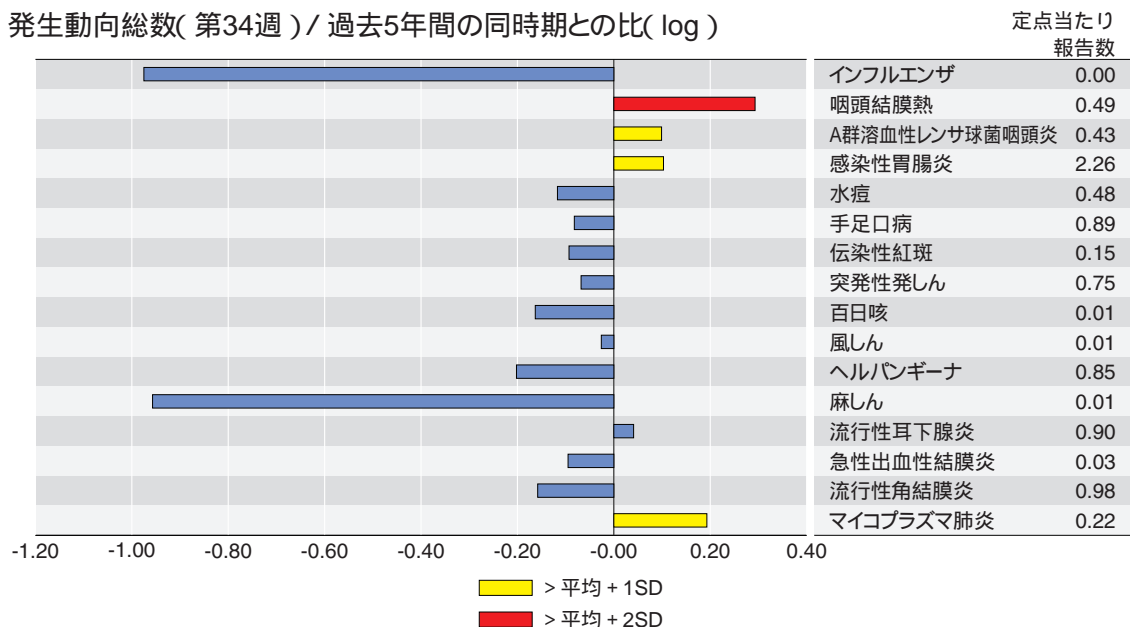
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 1例(推定感染地域: 国内)
細菌性赤痢 15例(推定感染地域: 国内1例、中国9例、インド3例、タイ1例、ネパール1例)
腸チフス 1例(推定感染地域: インド)
パラチフス 4例(推定感染地域: インド2例、インドネシア1例、他の1例は疑似症)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 202例(うち有症者154例)
報告の多い都道府県: 愛知県(16例)、東京都(14例)、大阪府(13例)、広島県(13例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(88例)、O26 VT1(40例)、O157 VT2(36例)、O111 VT1・VT2(7例)、O157 VT1(4例)、O111 VT1(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O63 VT2(1例)、O103 VT1(1例)、O115 VT1(1例)、その他(21例)
年齢: 10歳未満(90例)、10代(22例)、20代(36例)、30代(20例)、40代(10例)、50代(11例)、60代(5例)、70歳以上(8例)
 - 4類感染症: デング熱 1例(推定感染地域: ミクロネシア)
マラリア 2例 三日熱 1例(推定感染地域: インド)
熱帯熱 1例(推定感染地域: ナイジェリア)
ライム病 1例(推定感染地域: 国内)
レジオネラ症 2例(68歳、84歳)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 7例(推定感染地域: 国内5例、パラオ1例、その他1例)
推定感染経路: 経口感染1例、性的接触3例、不明3例)
ウイルス性肝炎 1例(C型__推定感染経路: 不明)
クロイツフェルト・ヤコブ病 3例(いずれも孤発性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2例(66歳(死亡)、42歳)
後天性免疫不全症候群 16例(無症候5例、AIDS 11例)
推定感染経路: 性的接触14例(異性間6例、同性間8例)、不明2例
推定感染地域: 国内13例、タイ1例、不明2例
梅毒 4例(早期顕症I期2例、早期顕症II期1例、無症候1例)
破傷風 1例(55歳)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(遺伝子型: 不明__菌検出検体: 臍頭部分泌液)
- (補)他にコレラ1例、アメーバ赤痢1例の報告があったが削除予定。また報告遅れとして、急性脳炎5例(病原体不明2例(3歳、4歳)、A型インフルエンザウイルス2例(2歳、5歳)、ムンプスウイルス1例(2歳))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第34週) / 過去5年間の同時期との比(log)

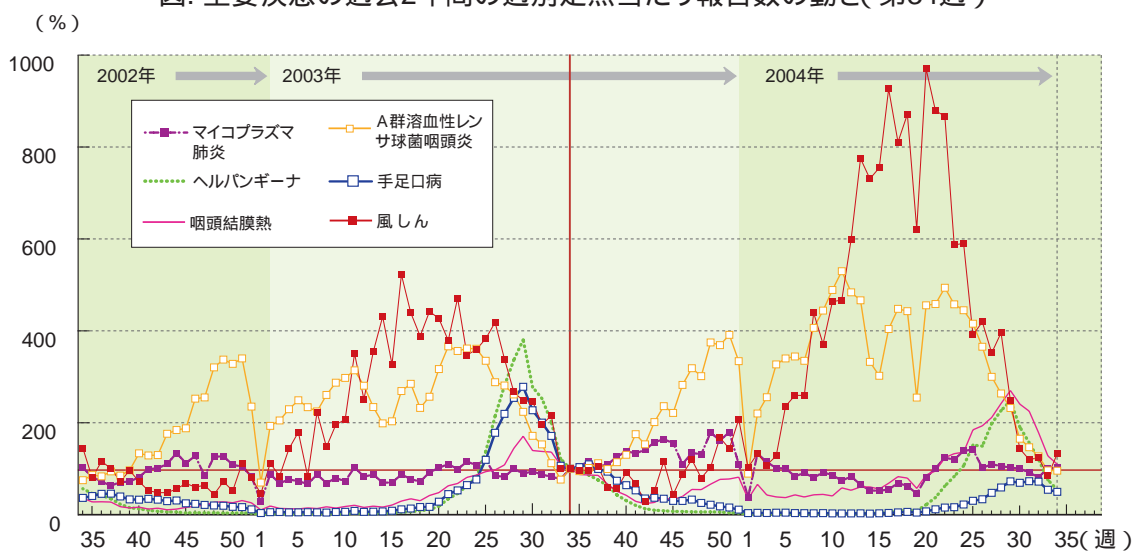


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週から増加傾向が認められ、第25週には過去10年間の全ての週と比較して最高値となった。その後も第29週まで最高値を更新し続けたが、第30週からは減少している。しかし相変わらず、過去10年間の当該週と比較して最高値を示しており、都道府県別では福井県(1.5)、高知県(1.5)、宮崎県(1.4)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少し続けているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多く、都道府県別では鳥取県(1.3)、宮崎県(1.1)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いているが、第34週は増加した。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では福井県(6.7)、大分県(5.8)、宮崎県(5.4)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加した後、第30週からはほぼ横ばいで推移したが、第33週から減少している。都道府県別では大分県(3.0)、北海道(2.5)、長野県(2.5)、福岡県(2.5)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では18都道府県から報告があったが、いずれも0.1以下であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、第26週を除き、第20週から第29週まで増加し続けたが、第30週からは減少している。都道府県別では秋田県(3.0)、青森県(2.5)、福島県(2.2)が多い。麻しんの定点当たり報告数は前週と同値で、第1週から継続して、過去10年間の当該週と比較して最低値を示している。15都道府県から報告があったが、いずれも0.1以下であった。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて32都道府県から報告がなされ、報告数は合計28例であった。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第20週から増加傾向が認められた後、第25週をピークに減少傾向が認められていたが、第33週から再び増加している。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では山口県(1.0)、山形県(0.9)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第34週)



2003年第34週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法に基づく3類感染症として、患者または無症状病原体保有者について、診断した医師は届け出が義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期的検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や接触者の調査などによって発見される場合が多い。

2004年第34週の現段階での報告数は202例であった。1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移している(図1)。また、第34週までの累積報告数は2,305例で、過去3年間の同週までの累積報告数(2001年3,296例、2002年2,319例、2003年1,514例)と比較すると、2002年の状況に近い。第34週までの累積報告数を都道府県別にみると、東京都(181例)、石川県(163例)、大阪府(144例)、岡山県(141例)、愛知県(108例)が多い(図2)。第34週に限ると、愛知県(16例)、東京都(14例)、大阪府(13例)、広島県(13例)が多く(図3)、報告の多くは家庭内感染を含む散発事例であるが、保育所での集団発生が複数の都道府県で散見される他、飲食店や高齢者施設における集団発生もみられている。

第34週までの累積報告数を血清型・毒素型別にみると、O157 VT1・VT2 798例(35%)、O157 VT2 524例(23%)、O26 VT1 458例(20%)の順に多い。また、年齢群別(0 ~ 69歳までは10歳毎、および70歳以上)にみると、10歳未満943例(41%)が最も多く、10代381例、20代314例、30代205例、40代124例、50代137例、60代94例、70歳以上107例となっている。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は第34週に2例報告があり、本年の累積は31例となった。それらの原因菌の血清型・毒素型別では、O157 VT2(16例)、O157 VT1・VT2(9例)、O26 VT1・VT2(2例)、O111 VT1・VT2(2例)、その他2例であった。また、年齢群別では10歳以下が24例(うち、5歳以下は20例)、10代1例、60代1例、70歳以上5例であった。性別では男性10例、女性21例と女性に多かった。また、死亡例は第34週に1例報告され、本年報告されている死亡例は4例(70代女性、2歳女性、3歳女性、80歳男性)となったが、原因菌の血清型・毒素型はそれぞれO157 VT1・VT2、O26 VT1・VT2、O111 VT1・VT2、O157 VT1・VT2であった。死亡例やHUSの合併については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、このような発生があった場合には「入力時のお願い」として、修正報告することをお願いしている。

例年報告は初秋にも多くみられるので、今後も一層の注意が必要である。また、本年においても、保育所などに関連した集団発生の報告が散見されている。保育所などでの人から人への感染を防ぐために、タオルの共用を避けることや、普段からの手洗い(特にオムツ交換時)、園児への排便後・食事前の手洗い指導を徹底することが重要である。さらに、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別週別発生状況

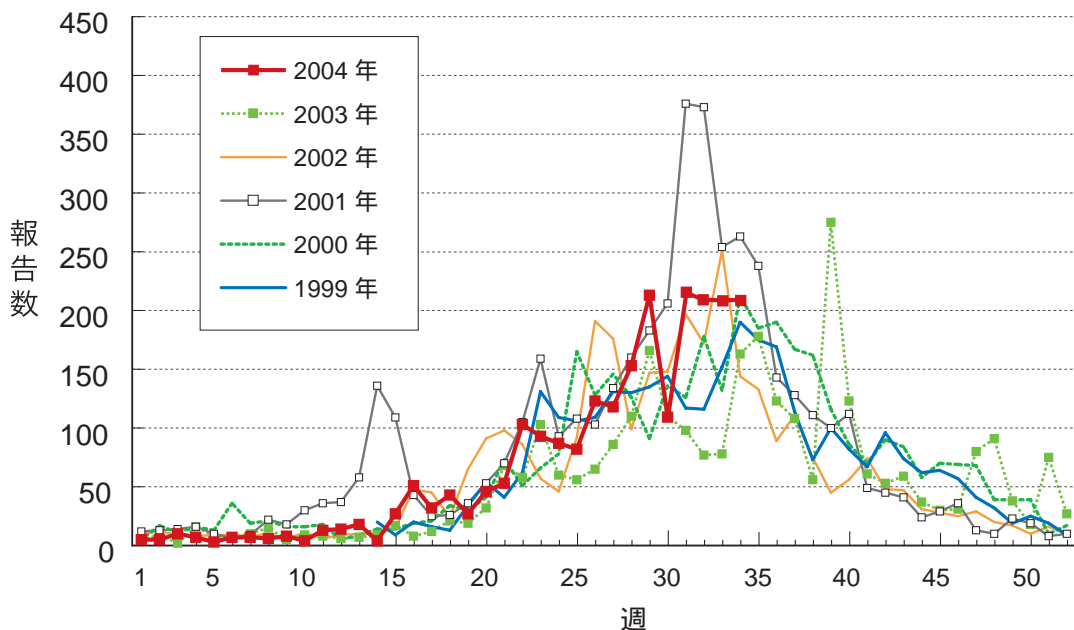


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第1 ~ 34週の累積)

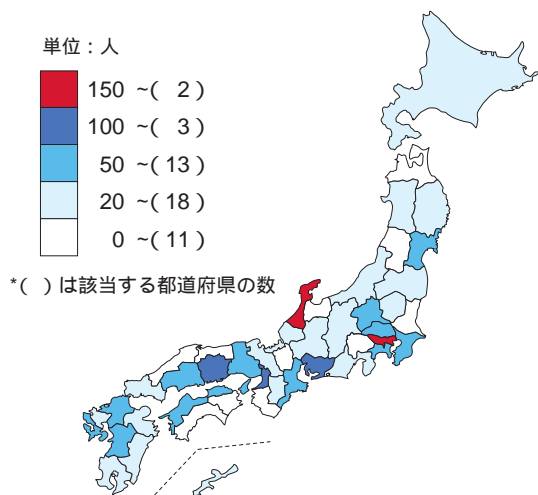
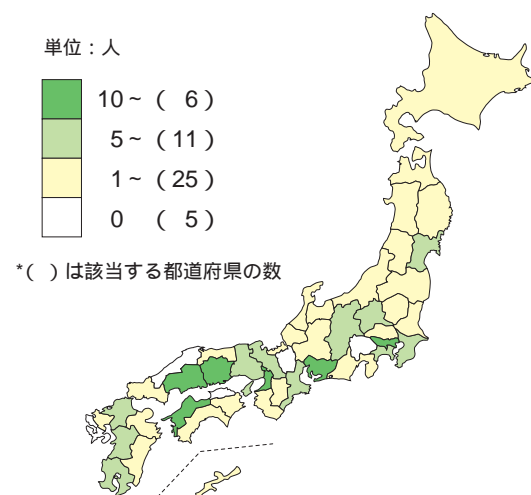


図3. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第34週のみ)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年8月26日現在報告分)

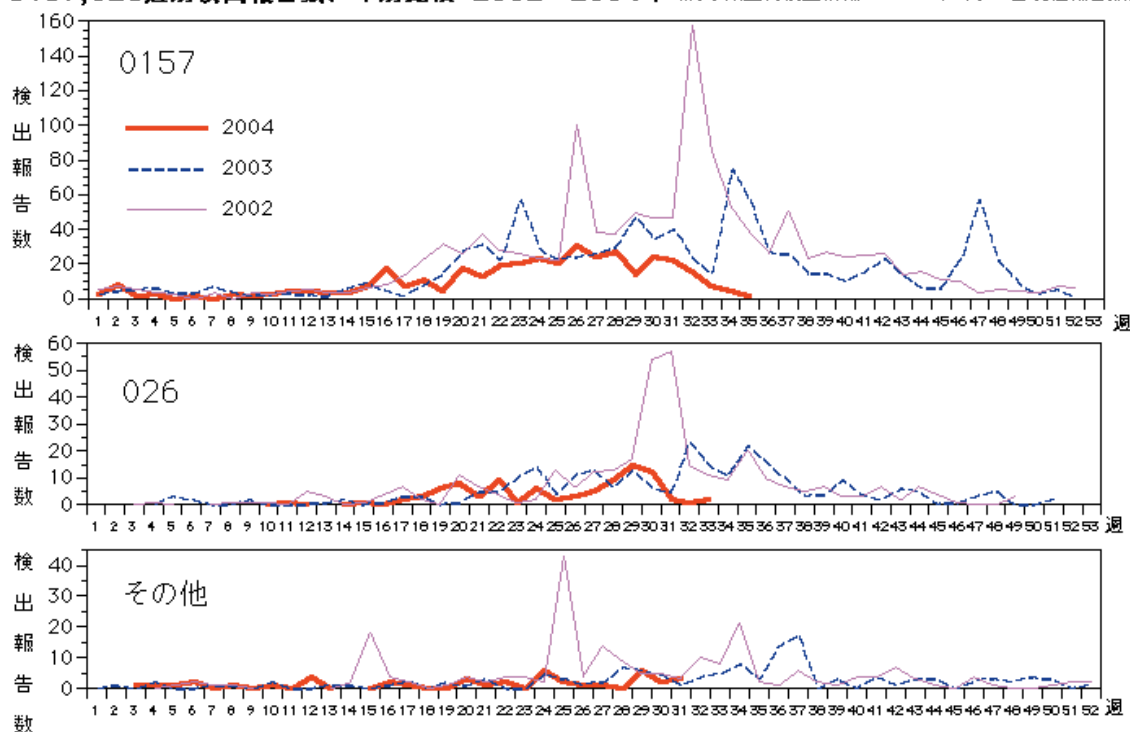
ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年

現在までの検出総数は493件で、うちO157が361件、O26が91件、その他の血清型が41件報告されている。第28~32週(7/5 ~ 8/8)の週別報告数は、O157が27、14、24、22、16、O26が9、15、12、2、1である。

第28~32週(7/5 ~ 8/8)には、O157が福岡県12、茨城県11、京都府11、群馬県10など、O26が宮城県21(うち12件は保育所で起きた集団発生事例からの報告)、静岡県6、福島県3などから報告されている。その他の血清型では、O111が福島県3、福岡県2、富山県1、OUT(O型別不能)が東京都2、静岡県、京都府、福岡県各1が報告されている。

第33週(8/9 ~)以降、O157が第33週に群馬県3(VT2が2件、VT1&2が1件)、福岡県2(いずれもVT1&2)、富山県1(VT1&2)、島根県1(VT1)、第34週に富山県2(いずれもVT1&2)、三重県1(VT1&2)、福岡県1(VT1&2)、第35週に富山県1(VT1&2)、O26が第33週に群馬県2(同一家族内事例、いずれもVT1)が報告されている。

O157,O26週別検出報告数、年別比較 2002~2004年 (病原微生物検出情報: 2004年8月26日現在報告数)

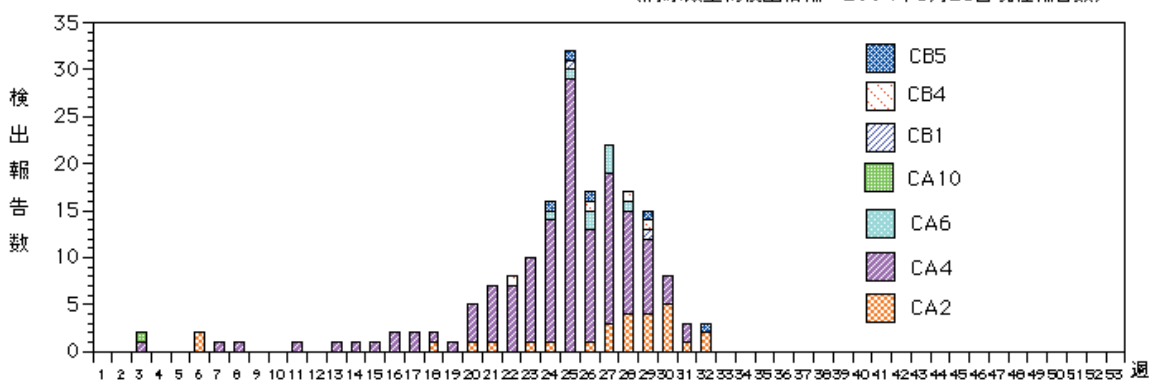


ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年

ほとんどがA群コクサッキーウイルス(CA)4型の報告である。CA4は第20週(5/10 ~)から増加し始め、これまでに18都府県から計133件が報告されている。大阪府25(IDWR2004年第31号11ページ速報記事参照) 愛知県24(本号速報記事参照) 奈良県14、徳島県14、滋賀県10などからの報告が多い。CA4に次いでCA2が27件報告されている。第26週までは8件が断続的に報告されているのみであったが、第27週(6/28 ~)以降に増加し、秋田県10、神奈川県3、長野県3などから報告されている。その他に、第27週以降にはCA6が4件(神奈川県3、島根県1) B群コクサッキーウイルス(CB)が5件(4型2、5型2、1型1)、エコーウイルス(E)が2件(6型1、7型1)報告されている。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離報告数、2004年

(病原微生物検出情報：2004年8月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年

エコーウイルス(E)が89件(30型43、6型24、18型12、7型5、13型3、25型1、27型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)が60件(5型33、1型16、3型6、2型4、4型1)、ムンプスウイルスが21件、A群コクサッキーウイルスが8件(9型5、2型3)報告されている。第25週(6/14 ~)以降では、E30が29件と最も多く、うち22件は福島県(IDWR2004年第33号15ページ速報記事参照)からの報告である。次いでCB5が28件で、奈良県15、滋賀県7、大阪府2、愛媛県2など近畿地方からの報告が多い。その他にE6が17件(福岡県8、愛知県7など)、CB1が12件(愛知県4、滋賀県3など)、ムンプスウイルスが11件(広島県5など)などが報告されている。



今夏の手足口病、ヘルパンギーナ患者からのウイルス検出状況 - 愛知県

手足口病：愛知県(名古屋市を除く)では2004(平成16)年4月～7月末までに、手足口病の患者21名中3名から、Vero細胞を用いてコクサッキーウイルスA16型(CA16)が分離された(18名については検査中)。5月に1歳、6月に1歳および2歳の患者からの分離である。ウイルス同定には国立感染症研究所分与のCA10、CA16、EV71抗体を用いたが、中和反応では同定できず、遺伝子検索(VP1およびVP4領域)による同定を行った。

愛知県では、CA16は2001(平成13)年から引き続き、手足口病の原因ウイルスの主流になっている。2003(平成15)年には手足口病患者40名からCA16が18件、エンテロウイルス71型(EV71)が20件、アデノウイルス1型およびアデノウイルス5型が各1件分離されたが、昨年もっとも多く検出されたEV71は、現在のところ検出されていない。

今季は手足口病の患者報告が定点当たり最高0.5と非常に少ないが、さらに調査が必要である。

ヘルパンギーナ：4月～7月末までに、ヘルパンギーナ患者52名中21名からウイルスが検出された。ウイルスの検出は細胞培養と遺伝子検出を併用して行った。分離ウイルスの内訳はコクサッキーウイルスA4型(CA4)が19件、CA10、CB5が各1件、陰性が11件であった(20名については検査中)。CA4の検出例の年齢は0～4歳が17名(90%)であった。

今季はヘルパンギーナの患者報告が第20週(5月10日～16日)で定点当たり1.0となり、第25週(6月14日～20日)に5.0と最高に達した後、第31週(7月26日～8月1日)では1.0と減少の傾向にある。今年は早くから暑かったことによる影響か、流行ピークが例年より早かったように思われる。

愛知県でも、ヘルパンギーナの患者から検出されるウイルスは年ごとに大きく変化しており、CA4は2002(平成14)年には患者40名中25名(63%)からと、多数検出された(その他は、CA5が2件、CA6が1件、CA10が2件、CA16が1件)が、2003年は患者40名中1名(2.5%)から検出されたのみであった(もっとも多く分離されたのはCA6の14件で、その他はCA2が2件、CA5およびCA10が1件、CA16が2件、CB3が1件、エコーウイルス18型が1件、インフルエンザウイルスA(H3)型が1件、HSV-1が2件)。

本年は全国的にもCA4の検出報告が多いことから、愛知県を含め全国的に、今季のヘルパンギーナの主要原因ウイルスと考えられる。

愛知県衛生研究所・微生物部

伊藤 雅 山下照夫 小林慎一 佐藤克彦
秦 眞美 藤浦 明 榮 賢司

(IASR2004年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

今夏のエンテロウイルス検出状況 - 愛媛県

2004年夏、愛媛県におけるエンテロウイルス(EV)感染症は全般的に穏やかな流行で推移している。やや大きな流行がみられたのはヘルパンギーナのみで、患者は例年より2～3週早い第20週から増加し始め、第24週(6月第1週)にピーク(定点当り7.7人/週)を示した。手足口病や無菌性髄膜炎の発生頻度は低い状態で推移している。今回は夏季のEV検出状況について報告する。

供試した検体は、2004年4月～8月の間に、感染症発生動向調査の一環として病原体定点など医療機関から搬入された咽頭ぬぐい液303件、髄液24件、および便16件など、計355件であった。ウイルス分離はFL、RD-18S、Vero細胞を用い、33で2週間回転培養して行った。また、必要に応じて哺乳マウスも併用した。

期間中EVは計78株分離された。A群コクサッキーウイルス(CA)4は4月以降計35株で最も多かった。6月下旬以降EVの検出が増加し、CA2、9、16、B群コクサッキーウイルス(CB)1、2、5、エコーウイルス(E)3、6、7と多彩な血清型株が分離された。EV以外にはアデノウイルス、RSウイルス、ムンプスウイルス、単純ヘルペスウイルスがみられた。

CA4はヘルパンギーナ患者報告数の多かった5、6月に集中しており、今夏のヘルパンギーナはCA4を主要原因とする流行であったと考えられた。CA4陽性患者の診断名はヘルパンギーナのほか、不明熱、上気道炎などであり、CA4がいわゆる夏カゼの原因でもあったことが推察された。CA4陽性患者の年齢分布は1歳が最も多く15名、次いで2歳7名、3歳5名で、3歳以下が80%以上を占めていた。無菌性髄膜炎からはCB1が2株(髄液1、咽頭ぬぐい液1)、CB5が2株(髄液2)、E7が1株(髄液)検出されており、それぞれが無菌性髄膜炎の起因ウイルスであったと推定された。また、手足口病からはCB5が2株(咽頭ぬぐい液1、便1)分離されたが、CA16が水疱内容液から1株分離されたことから、今夏の手足口病の原因はCA16であると考えられた。

E6は、EV同定用プール血清EP-95ではEP1とEP5で中和されるが、今年分離されたE6株はEP1による中和が弱く、約1日しか抑えられなかった。中和が不十分な分離株についてVP2-4領域の遺伝子解析を行ったところ、E6と同定された。抗原変異の可能性があるため、急遽E6分離株の免疫血清を作製中である。

ヘルパンギーナが例年より早く流行し、また、優勢な流行株がなく、多種類の血清型が蔓延していることが今夏のEV流行の特徴であった。

愛媛県立衛生環境研究所

豊嶋千俊 山下育孝 近藤玲子 大瀬戸光明 井上博雄

(IASR2004年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ドイツでの海外渡航関連A型肝炎患者の発生: 国際的警告

Eurosurveillance Weekly, Volume 8/Issue 35 2004年8月26日

エジプトで休日を経た後にドイツに帰国した観光客の間で、A型肝炎の流行が検知された。患者は紅海沿岸の特定のホテルに滞在した。ドイツ人観光客の聞き取り調査で、ロシア、イタリア、フランス、英国、オーストリア、スイス、デンマーク、スウェーデンからの渡航者が同じホテルに滞在していたことが判明した。ヨーロッパ早期警戒警報システムEuropean Early Warning Systemにより警報が発令された。2004年8月26日までに、このホテルに関連した患者100名がドイツから、16名がその他の国から報告された。

エジプトはA型肝炎感染が常在し、感染リスクの高い国である。A型肝炎に対する免疫のない渡航者に対して、Ständige Impfkommission(ドイツ全国ワクチン標準化委員会)は、ワクチン接種後抗体価の上昇(免疫獲得)までに2週間を要することから、遅くとも渡航の2週間前までにA型肝炎ワクチンを接種することを勧奨している。例外的な事例として、ワクチン接種をより遅く行うこともありうるが、この場合感染予防効果は劣ると考えられる。この記事の著者は、関連する可能性がある事例の情報提供を期待している。感染源については、現在もまだ調査中である。

文献: Robert Koch-Institut. Zu einer Häufung reiseassoziiertes Hepatitis A nach Rückkehr aus Ägypten. Epidemiologisches Bulletin 2004; 34 : 286.

<http://www.rki.de/INFEKT/EPIBULL/2004/34_04.PDF>

中国での鳥インフルエンザ流行

WHO/CSR 2004年8月25日更新

アジアでの現在の鳥インフルエンザH5N1型流行が広範囲に感染伝播していること、および、インフルエンザウイルスが種の壁を超えて感染伝播しうることを考慮すると、H5N1型ウイルスがブタから検出されることは不可避である。ブタは、鳥およびヒトのA型インフルエンザウイルスに感染しうる。たとえば、ヒトインフルエンザウイルスH3N2型はアジア、ヨーロッパ、アフリカのブタで検出されている。

これらのヒトおよび鳥インフルエンザウイルスの一部がブタに適応し、ブタ集団中で感染循環し始める可能性がある。ブタでの鳥、ヒト、およびブタインフルエンザウイルスの同時循環は遺伝子交換、すなわち、これらウイルス遺伝子間の「組み換え」の可能性があるため、深刻な懸念事項である。こうした事態は、新たなパンデミック株の発生に繋がる可能性がある。

先週、中国のハルビン獣医学研究所の研究者が、中国各地の養豚場のブタが鳥インフルエンザH5N1型株に感染していたことを発表した。中国農業省はその後、この研究者の発表した事実を確認した。しかし、今回の少数の研究成果からは、中国のブタ集団でH5N1型ウイルス感染が既に根付いているかどうかについては、明確になっていない。

今回の研究結果がまだ初期段階のものであり、必ずしもブタでの広範囲な感染を意味するものではないために、この情報の公衆衛生上の意義を評価することは困難である。現在の状況の詳細なリスク評価のためには、パンデミックインフルエンザ株新興の可能性に影響を与える主要な因子を把握する必要がある、すなわち、アジアのブタでのH5N1型とヒトH3N2型の陽性率、ウイルスの遺伝子組み替えの可能性とその病原性の程度などである。

ウイルス遺伝子組み替えの際の、ブタの果たす役割は完全には把握されていない。ブタでの

インフルエンザウイルス遺伝子組み替えの自然での事例で、新規パンデミック株産生につながったことは知られていないが、こうした発生の可能性も否定はできない。

遺伝子組み替えのチャンスは、ブタにおけるH5N1型ウイルスの循環期間、およびヒトとブタのA型インフルエンザウイルス(H3N2型またはH1N1型)の共存に依存する。ヒトと鳥インフルエンザウイルスが同時循環する限りは、(ヒトにおいてであれ、ブタにおいてであれ) 遺伝子物質の組換えの可能性は存在する。

中国での今回の研究結果の意義をより良く理解するために、WHOは、中国とそれ以外のH5N1型鳥インフルエンザ感染を経験した国々に対し、ブタでのH5N1型やその他のA型インフルエンザウイルスに関するさらなる研究を行うよう奨励している。加えて、ウイルス遺伝子組み替えの可能性、組み換えウイルスが病原性を有する可能性、ブタがパンデミック株新興の媒介者として関係する可能性を解明するには、実験室での研究が必要となろう。こうした研究結果は、国内、国際的な保健当局が、H5N1型株からの新規インフルエンザウイルスパンデミック株の新興における、ブタとヒトの役割を検討するだけでなく、必要な公衆衛生上の介入の枠組を作るためにも役立つであろう。

スーダンでのE型肝炎流行

WHO/CSR 2004年8月30日

2004年5月22日から8月20日の間に、早期警報対応システム(EWARN)を通じて、大Darfur地域内の医療機関から、E型肝炎が疑われる患者2,431名と死亡者41名が報告された。

流行が最も深刻なのは西Darfur地区(state)で、報告された全患者の66%が発生した。海軍医学研究所第3部(NAMRU-3)では、西および南Darfur地区で採取された検体について、PCR法を用いた検査による診断確定が実施された。北Darfur地区からの検体での検査結果は、未着である。

UNICEFは連邦と州の保健当局、および非政府組織とともに、十分量の安全な飲料水の確保に努めている。EpicentreおよびEPIET(介入疫学養成過程のためのヨーロッパプログラム)が今回のE型肝炎流行の疫学を検討し、最も適切な予防・制圧対策に焦点を絞っている。

ギニア、マリ、スーダンで新たなポリオ患者が確認された

WHO記者会見 2004年8月24日

ギニア、マリ、スーダンで新たなポリオ患者が確認され、一方、ナイジェリアのKano州ではワクチン接種が再開されている。

ナイジェリア北部が起源である現在進行中のポリオ流行により、新たな国々でも患者が発生しており、西および中央アフリカ全域での大規模流行の脅威をはっきりと示している。Global Polio Eradication Initiativeの疫学専門家は8月24日、スーダンのDarfurでの新規患者3名に加え、ギニアおよびマリでの患者発生(再流行)を確認した。ギニアで患者1名(麻痺発病日: 2004年6月5日)およびマリで2名(麻痺発病日: 2004年5月15日および7月5日)は、ナイジェリア北部のKano州でポリオワクチン接種キャンペーンが再開されてから丁度2週間後に確認され、緊急に地域全体でワクチン接種率の引き上げが必要であることが再確認された。今回の新たな患者発生により、ポリオが制圧されていた国で再流行が発生したところは、2003年1月以来、12カ国になった。

ギニアとマリは、ナイジェリア北部とニジェールからのポリオ拡大を限局させるために、2004年2月と3月に同時期一斉のワクチン接種キャンペーンを実施した国には含まれていない。ナイジェリア北部からのポリオの拡大に対する国際的な懸念から、アフリカ連合加盟国の保健相は5月に、ナイジェリアおよびニジェールを含む22カ国で、2004年10月と11月に一連の同時期大規模ポリオキャンペーンを実施することを決定した。今回の新たな患者は、5歳以下の小児7,400万人以上の接種を目標としたキャンペーンの準備が強化されているため、報告された。しかし、Global Polio Eradication Initiativeは、今回のキャンペーンやその次の2005年の同時接種の準備は、すでに明らかな予算不足のため、深刻な影響を受けていると警告している。

2000年と2001年の同様のキャンペーンにより、実施した各国の大部分ではポリオの感染伝播が中断されたが、コートジボワールとスーダンのDarfur地域の社会不安により、今年すべての小児にワクチン接種を達成するのは特に困難となるであろう。

来るべきキャンペーンを成功させる確率を高めるため、関係諸国はポリオサーベイランスを強化し、定期ワクチン接種率を向上し、全国ワクチン接種デーを支援するよう、国内のすべての部門を関与させることが求められている。

Global Polio Eradication Initiativeの先頭に立っているのは、国連各機関、国際保健・援助団体などである。ポリオ感染国は、同Initiative(計画)が1988年に開始された時点では125カ国以上であったが、現在ではナイジェリア、インド、パキスタン、ニジェール、アフガニスタン、エジプトの6カ国に減少した。

2004年には8月24日時点でポリオ患者602名が報告されたが、それらは、常在流行しているナイジェリア(476名)、インド(34名)、パキスタン(23名)、ニジェール(19名)、アフガニスタン(3名)、エジプト(1名)、および輸入例が発生しているチャド(12名)、コートジボワール(9名)、ブルキナファソ(6名)、ベニン(6名)、スーダン(5名)、中央アフリカ共和国(3名)、マリ(2名)、ギニア(1名)、カメルーン(1名)、ボツワナ(1名)である。



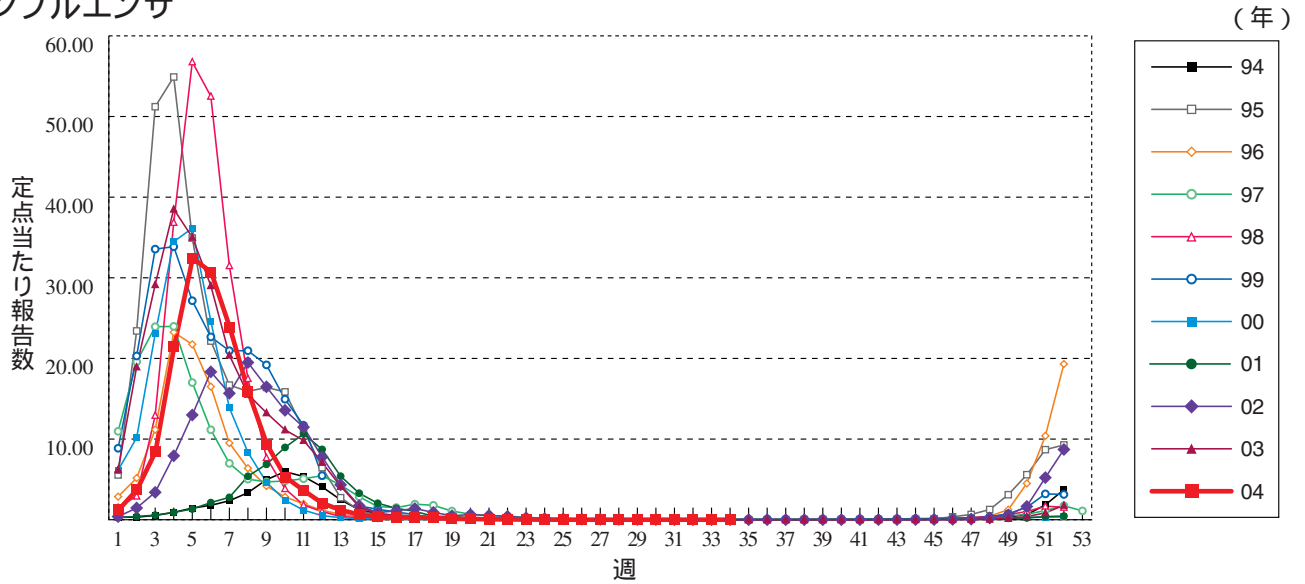
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

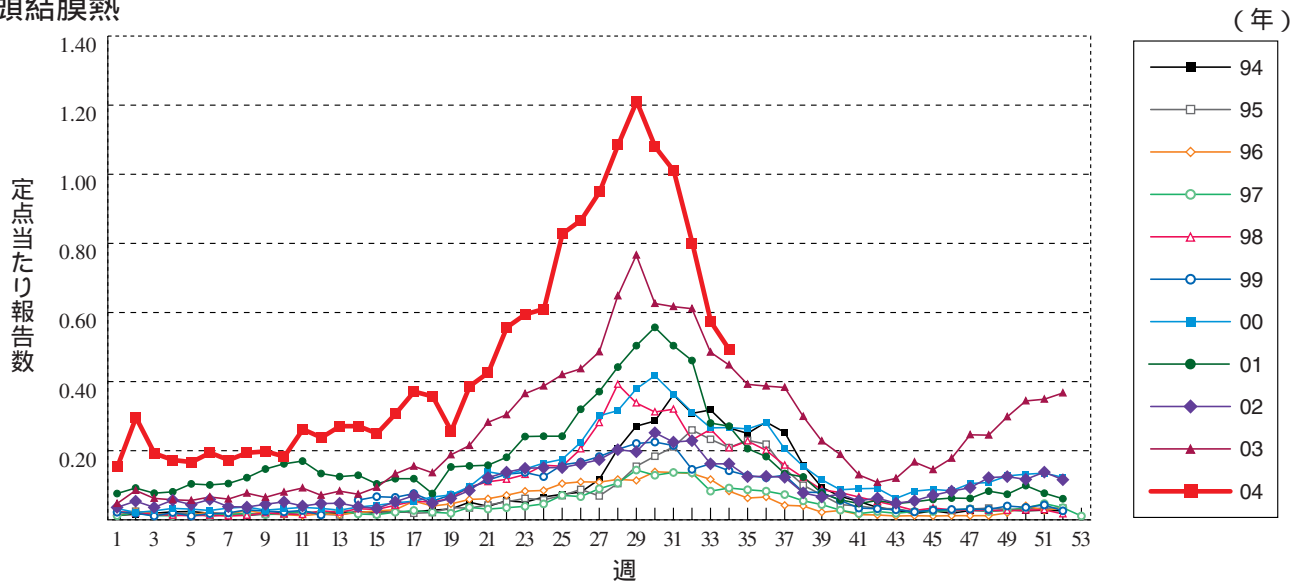


グラフ総覧(3 4 週)

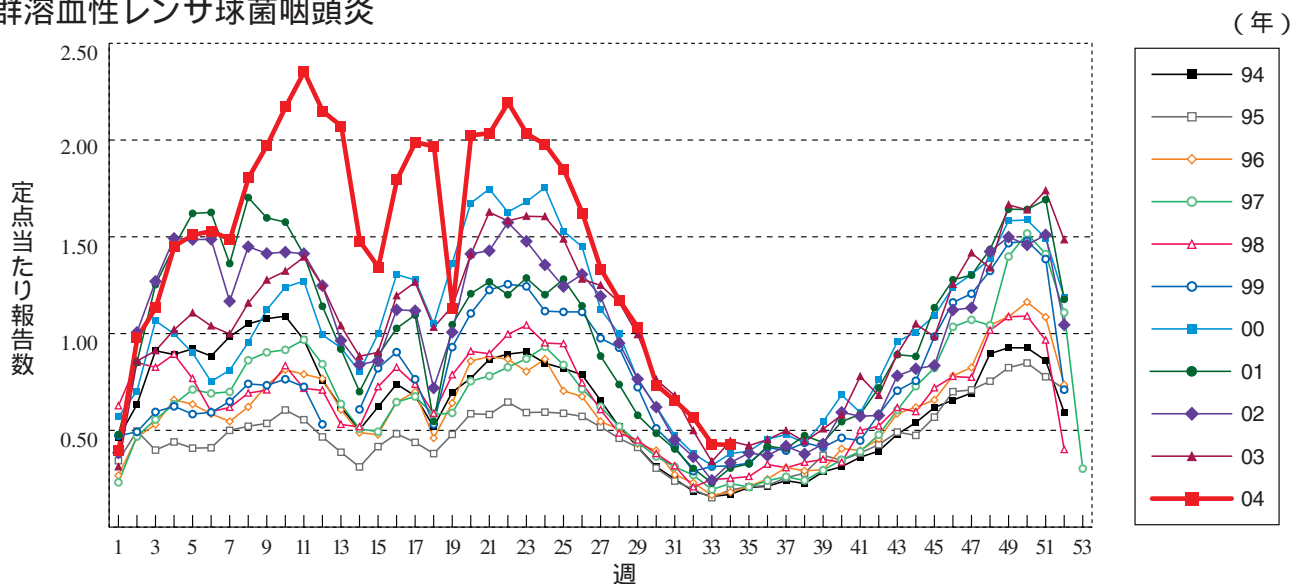
インフルエンザ



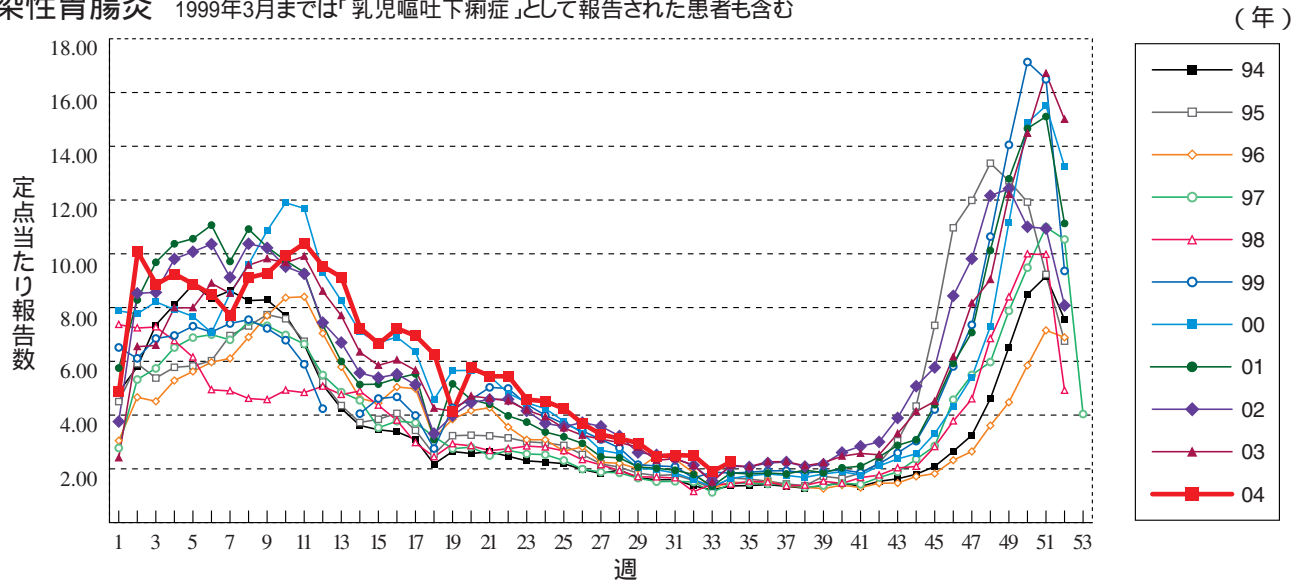
咽頭結膜熱



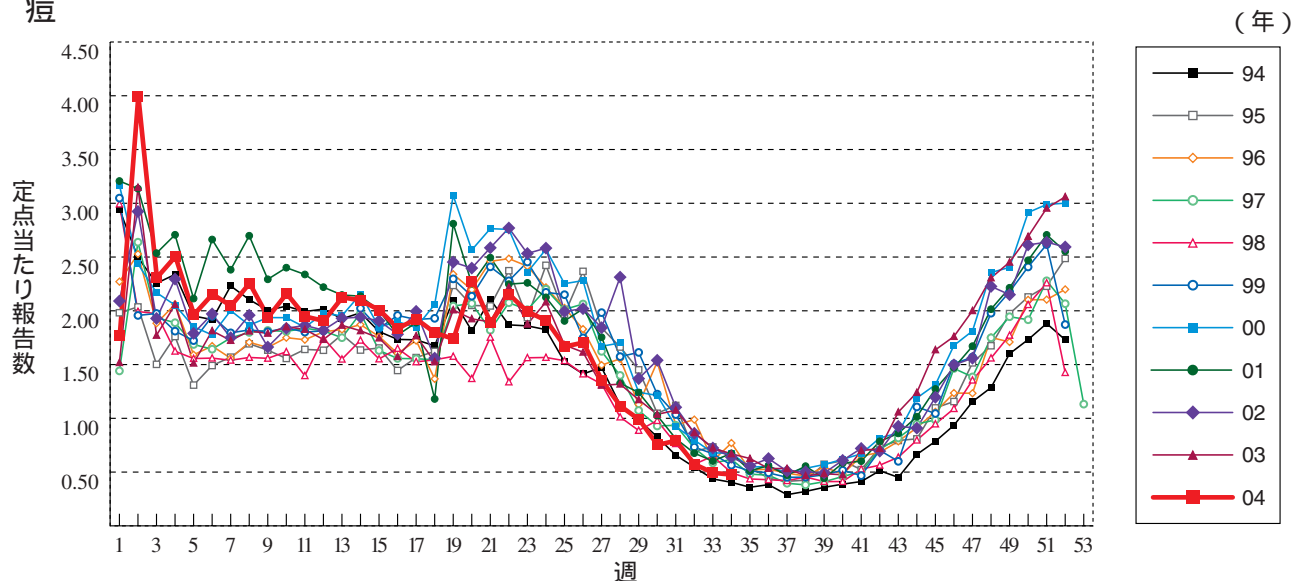
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



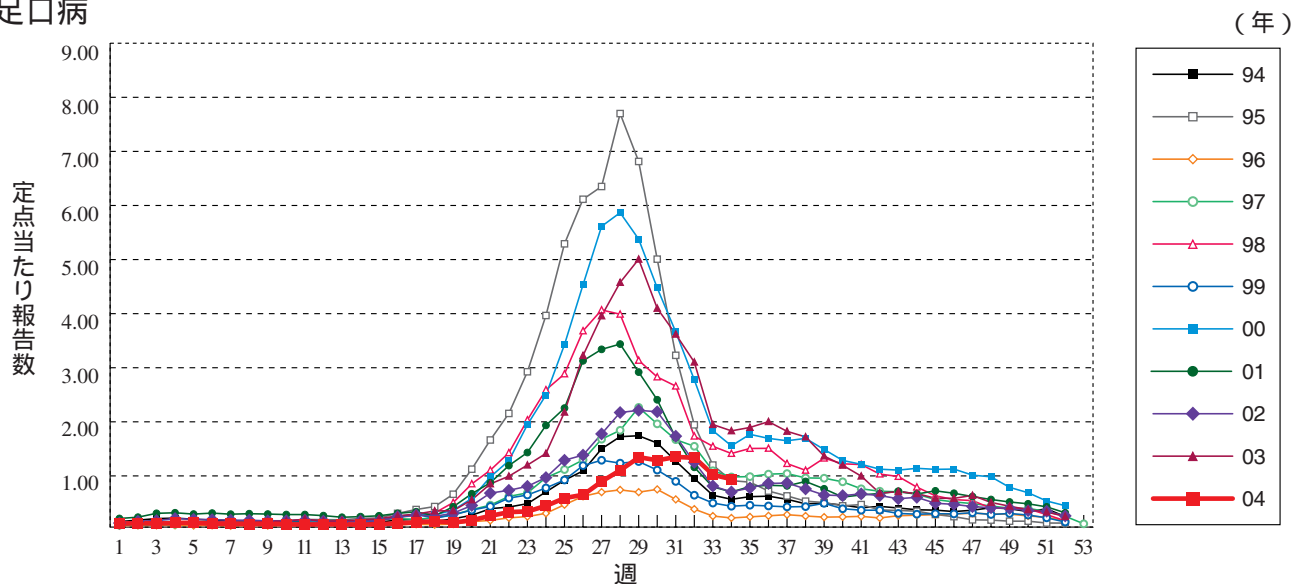
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



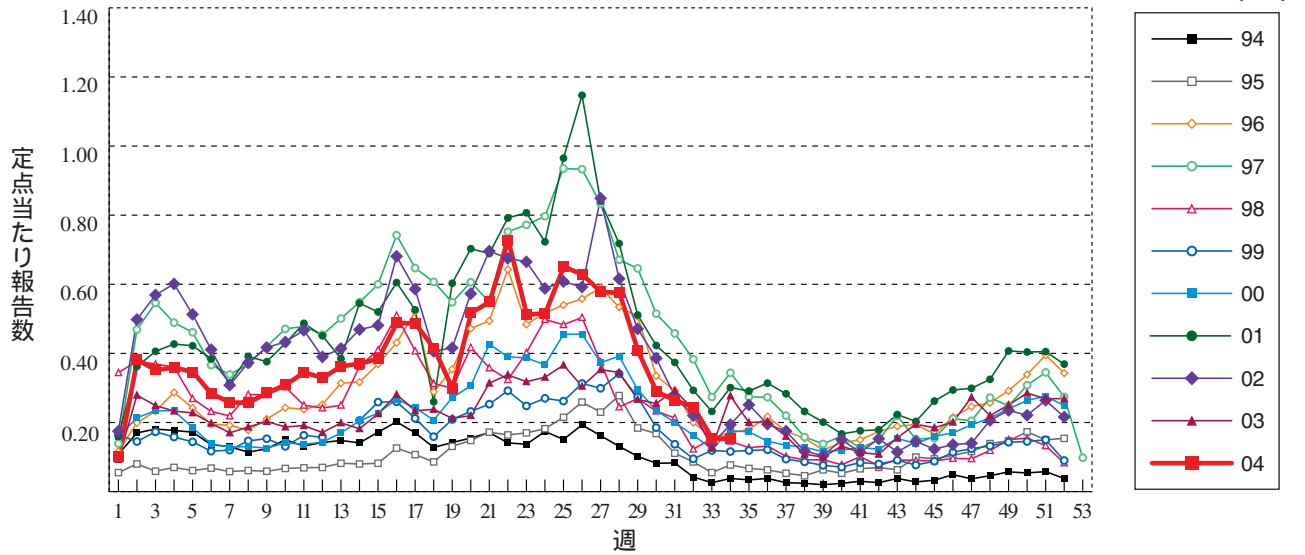
水痘



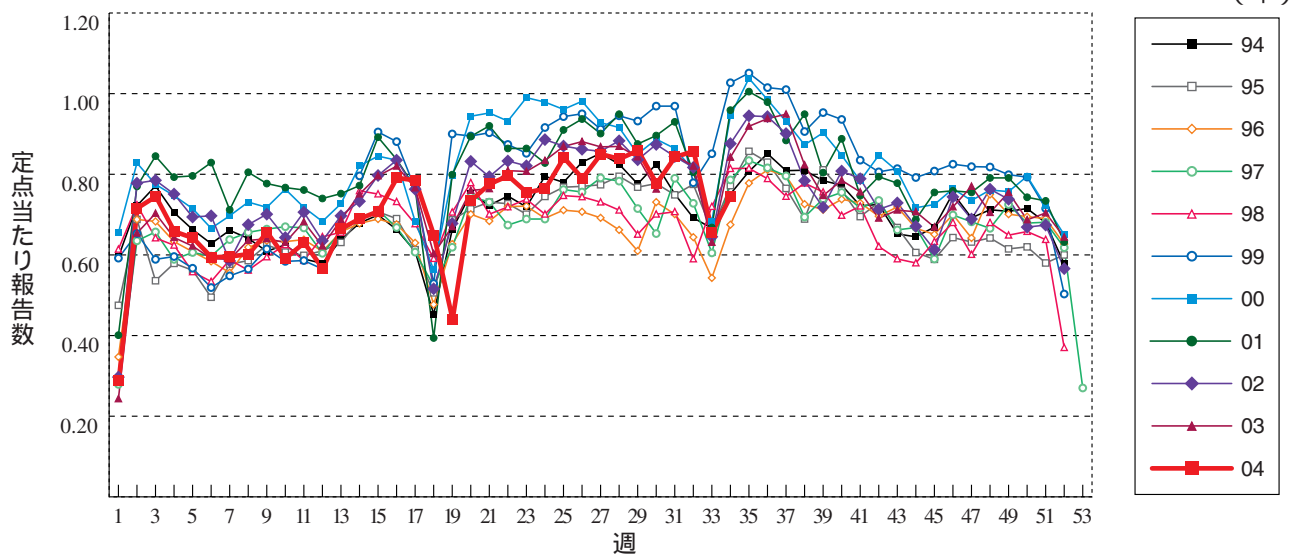
手足口病



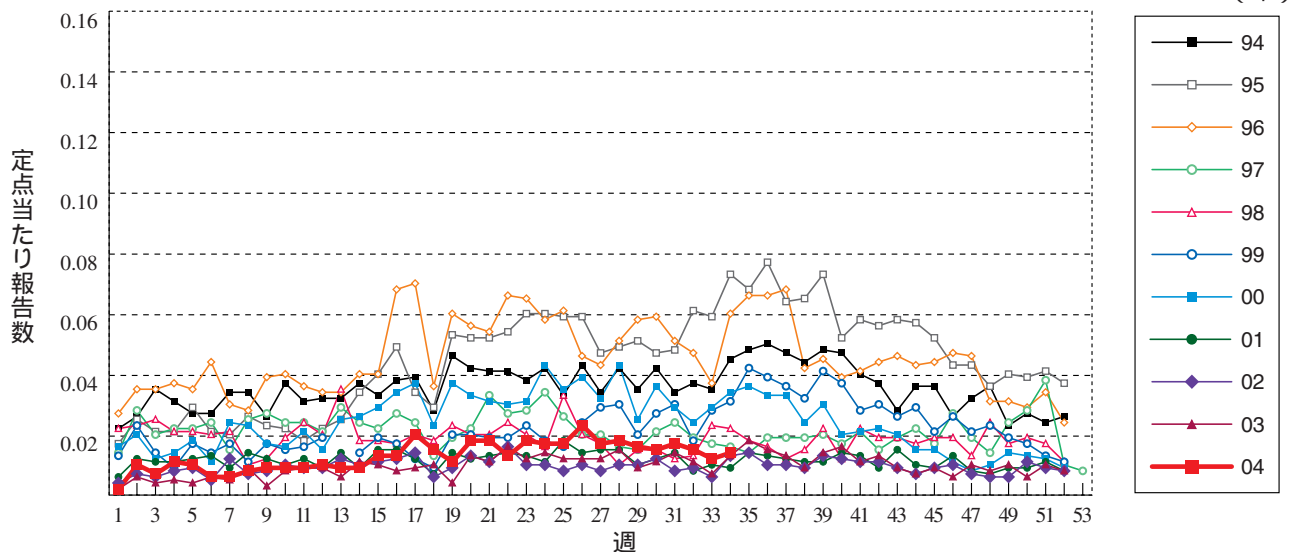
伝染性紅斑



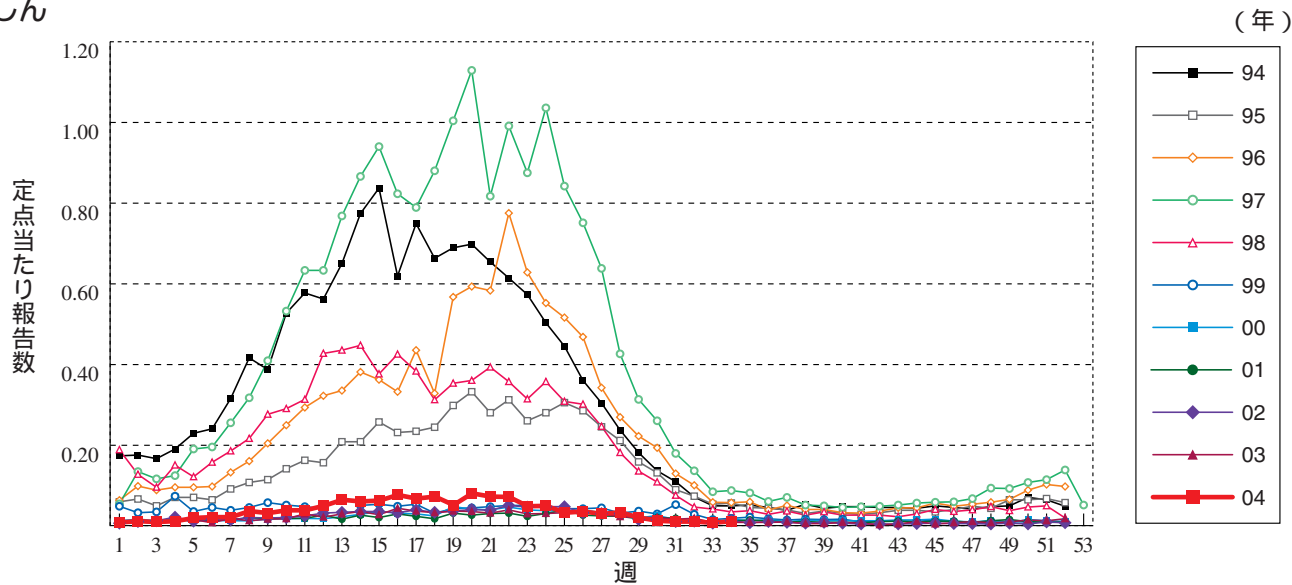
突発性発しん



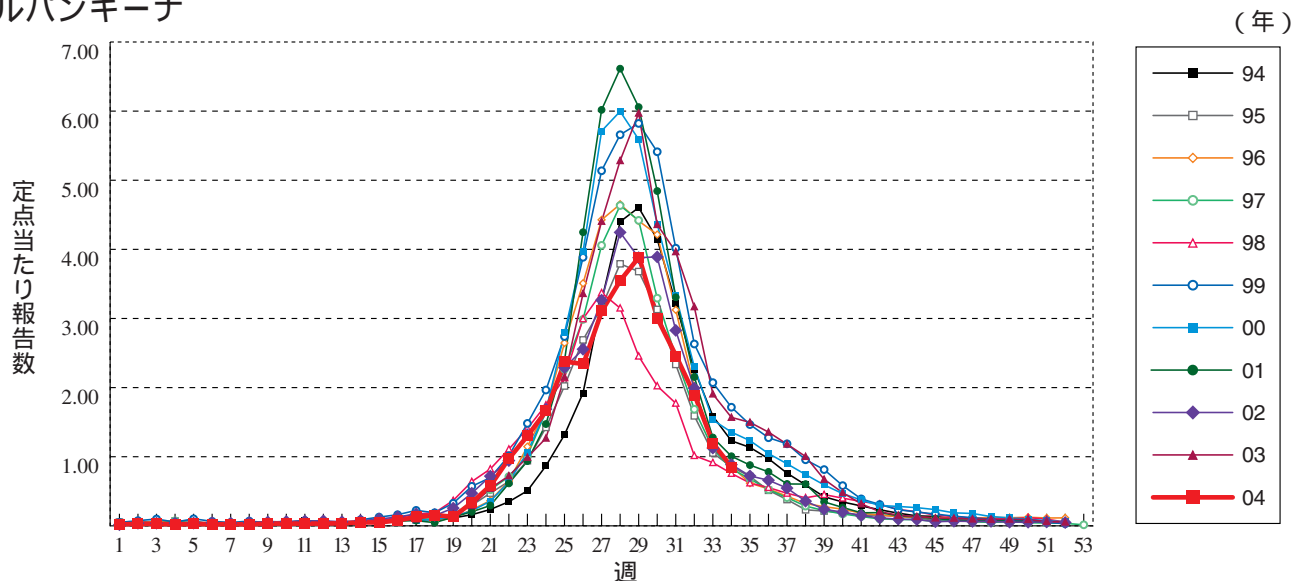
百日咳



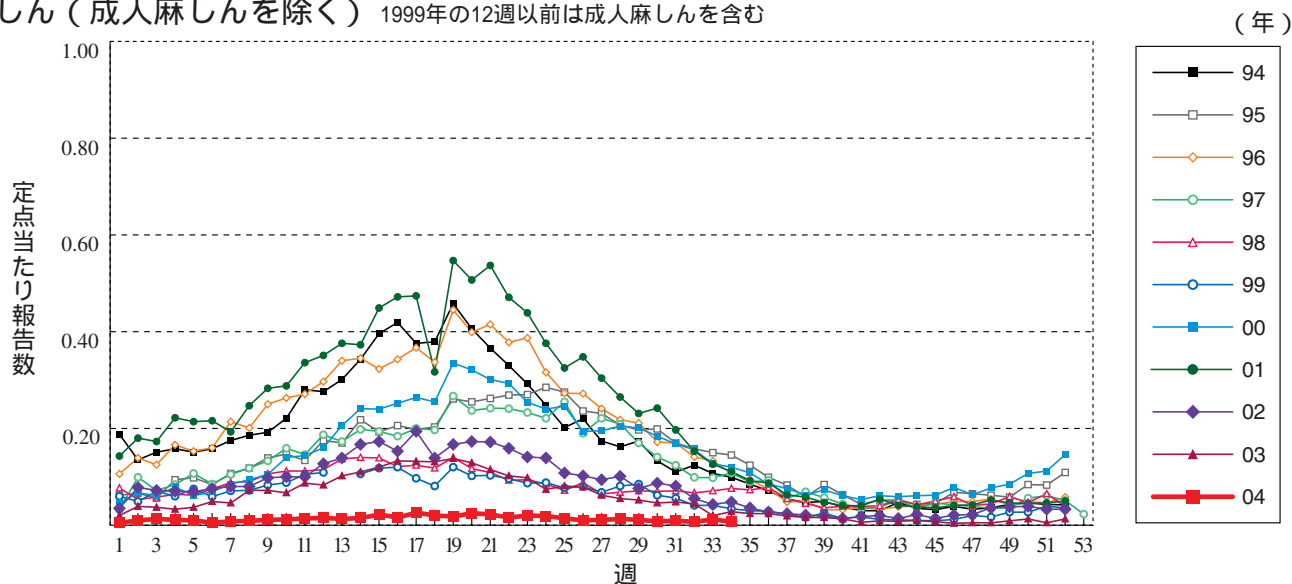
風しん



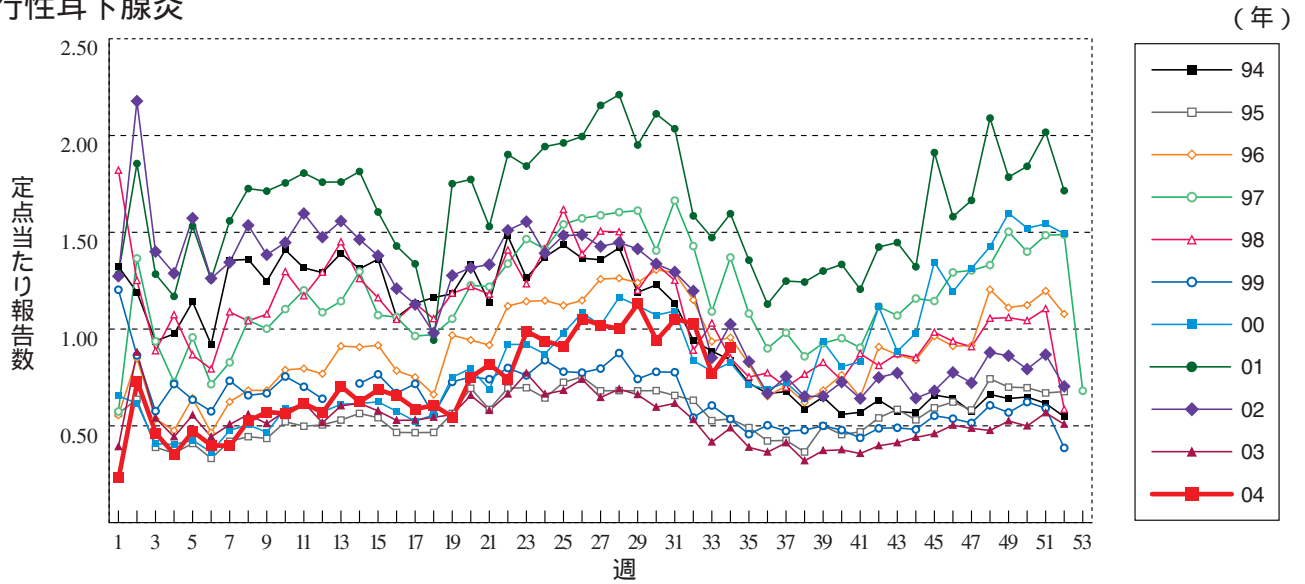
ヘルパンギーナ



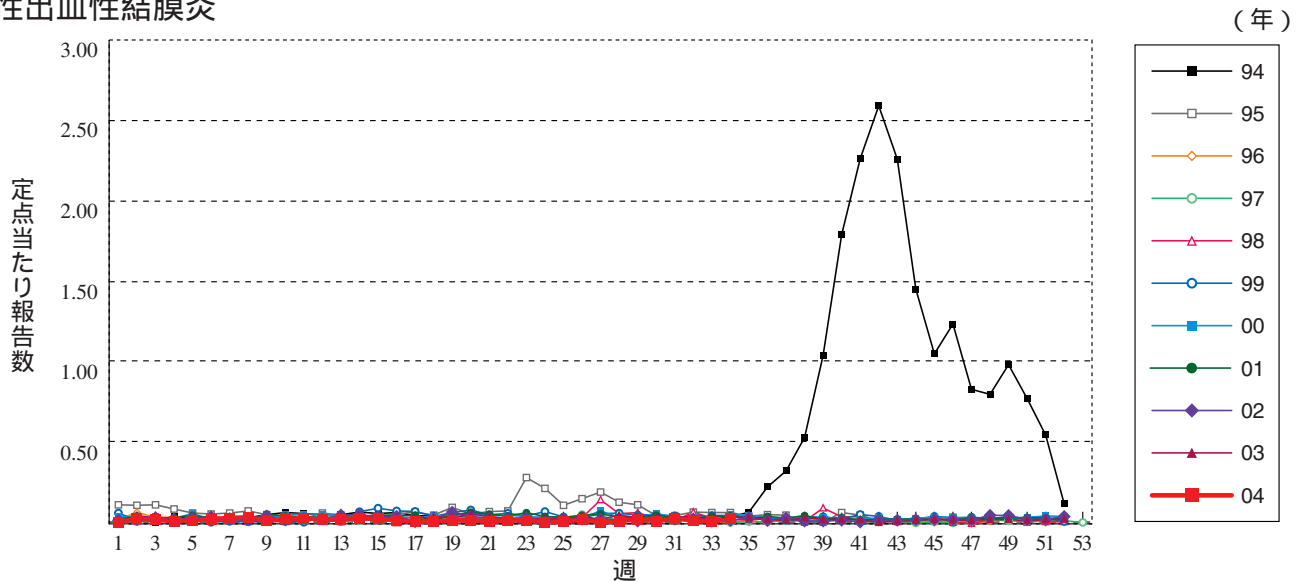
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



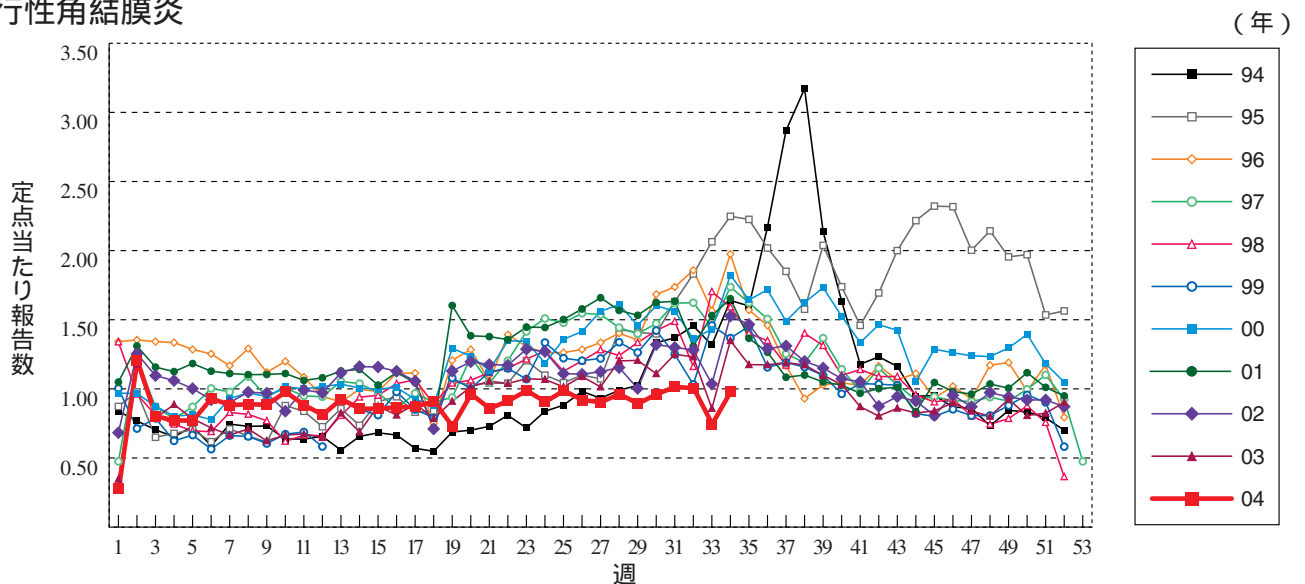
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

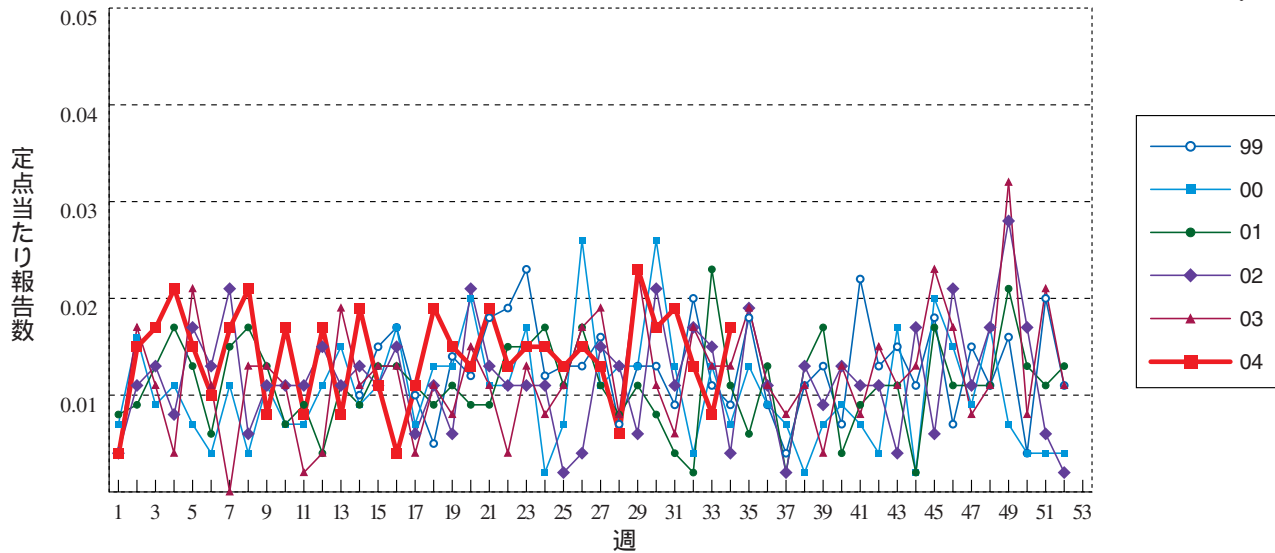


流行性角結膜炎



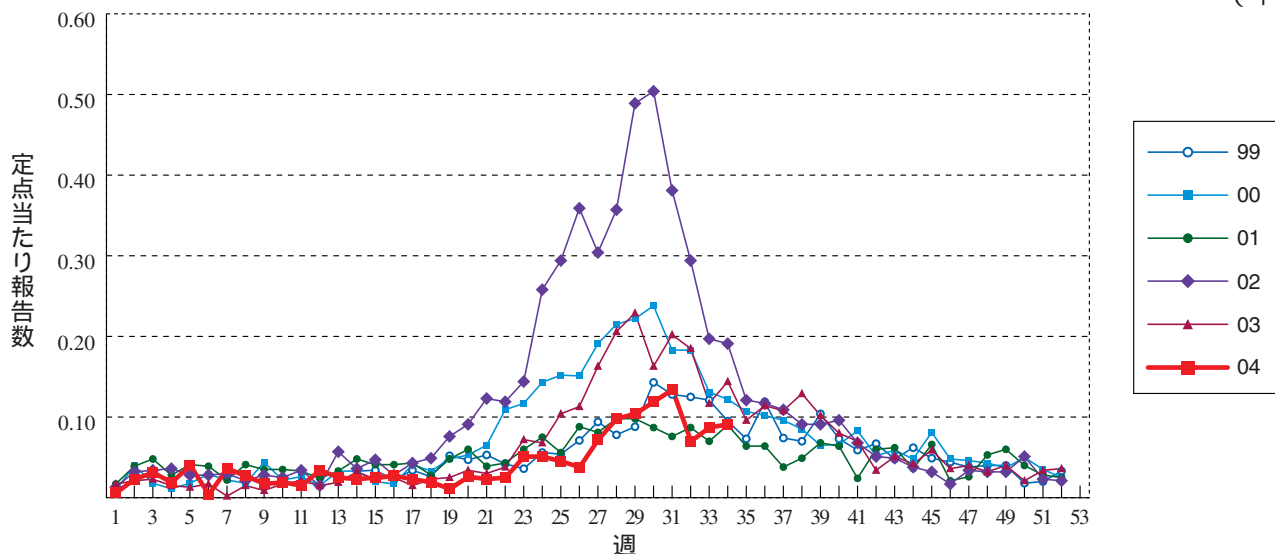
細菌性髄膜炎

(年)



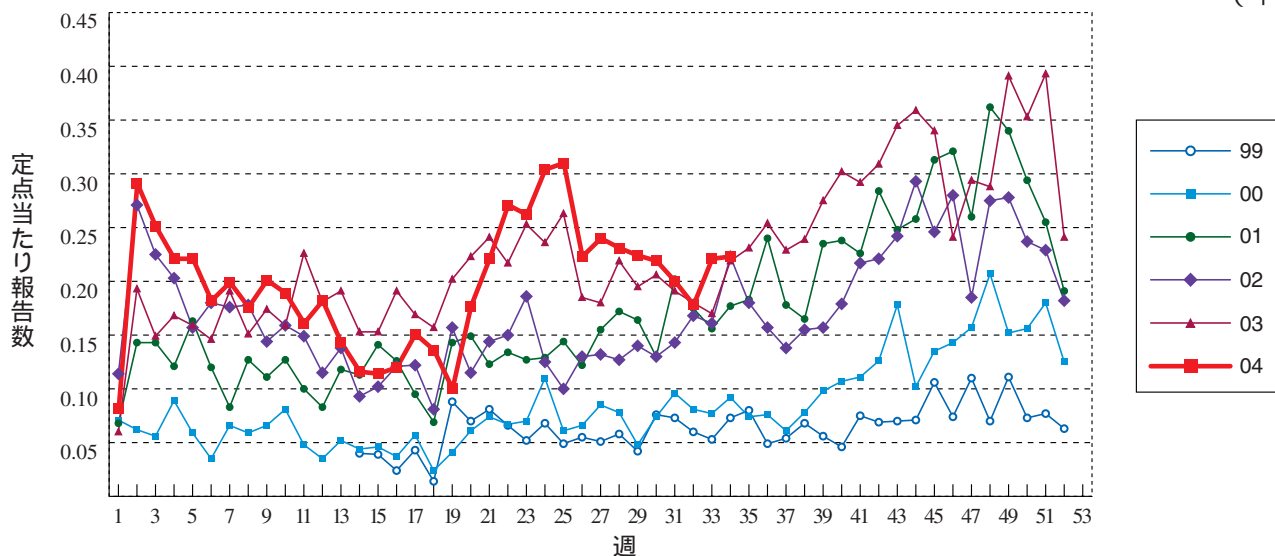
無菌性髄膜炎

(年)



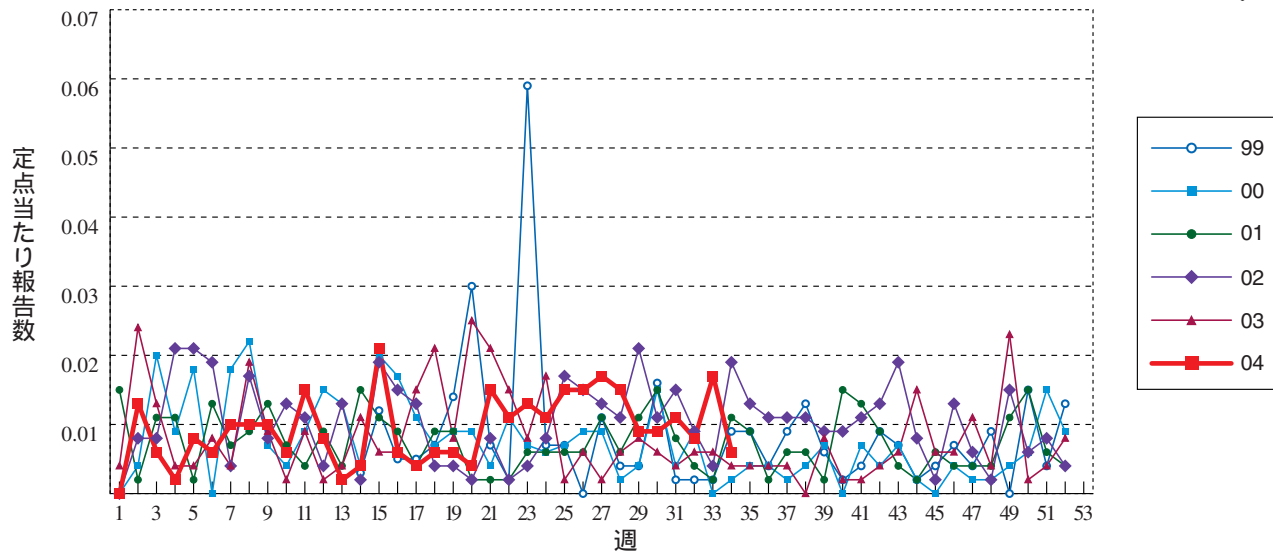
マイコプラズマ肺炎

(年)



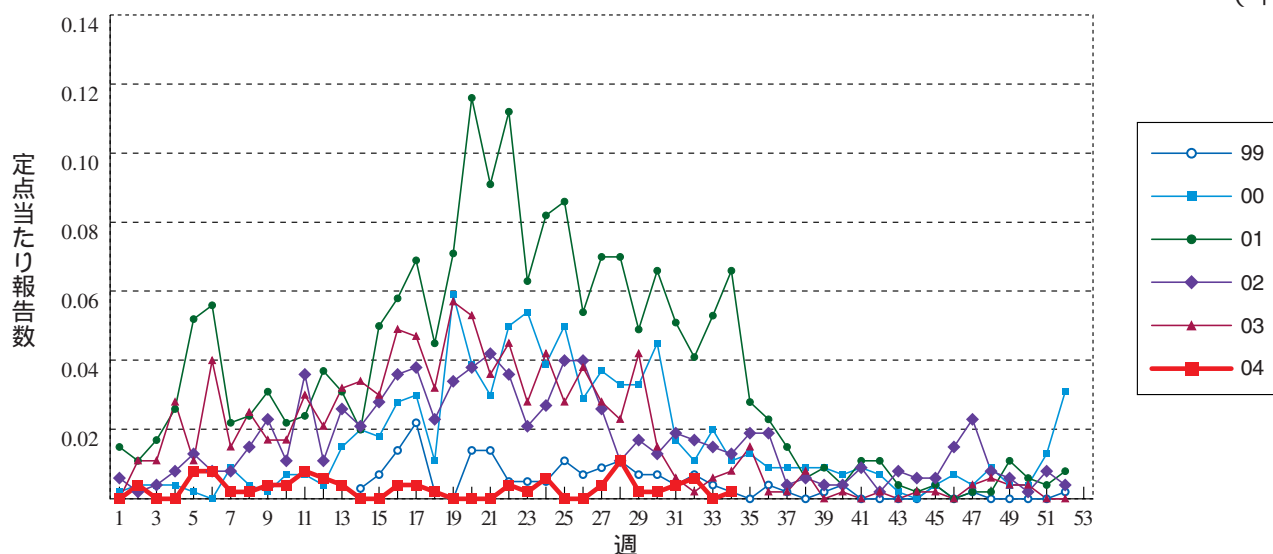
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





34週のデータ

注)表中の報告数は8月26日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年34週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	44	15	332	1	39	4	52
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	11	-	2	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	17	-	1	-	3	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	26	-	3	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	1	72	-	10	-	12
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	3	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	2	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	15	-	1	3	8	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	1	-	4	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	34	-	3	1	3	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	16	1	5	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	11	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	9	-	1	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年34週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	202	2305	8	369	-	20	-	-	-	31	-	-	1	182
北海道	-	-	-	-	4	40	1	7	-	20	-	-	-	1	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	2	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	7	77	1	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	2	29	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	3	28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	2	25	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	9	50	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	3	57	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	6	91	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	14	181	2	87	-	-	-	-	-	2	-	-	-	37
神奈川県	-	-	-	-	6	54	-	21	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	2	20	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	3	163	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	3	31	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	9	41	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	27	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	2	45	-	14	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	16	108	1	35	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	5	67	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	16	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	5	42	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	13	144	1	38	-	-	-	-	-	6	-	-	-	19
兵庫県	-	-	-	-	5	99	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
奈良県	-	-	-	-	2	35	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	1	10	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	4	14	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	10	141	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	13	58	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	1	8
山口県	-	-	-	-	3	32	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	52	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	11	68	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	7	97	-	15	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	4	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	62	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	6	59	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	3	20	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	1	24	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	5	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	2	23	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年34週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	6	3	108	2	40	16	728	-	2	-	53	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	1	6	-	2	-	8	-	-	-	2	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	9	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	1	26	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	2	35	-	-	-	5	-	-
東京都	-	1	-	-	-	5	-	9	-	5	4	278	-	-	-	15	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	7	1	2	-	45	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	27	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	24	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	45	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	2	73	-	-	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	7	1	3	-	14	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	1	4	-	3	-	11	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年34週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	17	-	5	-	-	-	97	1	20	-	26	-	1	4	315	1	60
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3
青森県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	7	-	2
東京都	-	4	-	3	-	-	-	5	-	12	-	-	-	-	-	42	-	1
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	10	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	1	22	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	12	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	1	-	6	-	1
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	9	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	16	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	-	4	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	2	-	-	1	5	-	5
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年34週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	35	-	-	-	-	-	-	-	-	2	39	1	2	2	88
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	1	12
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年34週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	21	-	-	-	98	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年34週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	2	-	47	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年34週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	6	0.00	1484	0.49	1283	0.43	6829	2.26	1440	0.48	2687	0.89	461	0.15	2252	0.75	42	0.01
北海道	-	-	109	0.76	75	0.52	125	0.87	87	0.61	357	2.50	7	0.05	69	0.48	1	0.01
青森県	-	-	17	0.40	13	0.31	55	1.31	14	0.33	9	0.21	4	0.10	28	0.67	2	0.05
岩手県	-	-	12	0.32	13	0.35	43	1.16	18	0.49	4	0.11	9	0.24	29	0.78	1	0.03
宮城県	-	-	22	0.37	24	0.41	122	2.07	25	0.42	23	0.39	26	0.44	35	0.59	-	-
秋田県	-	-	13	0.37	14	0.40	70	2.00	22	0.63	9	0.26	3	0.09	18	0.51	-	-
山形県	-	-	10	0.33	22	0.73	22	0.73	7	0.23	4	0.13	2	0.07	30	1.00	-	-
福島県	-	-	30	0.63	32	0.67	148	3.08	38	0.79	11	0.23	9	0.19	53	1.10	1	0.02
茨城県	2	0.02	38	0.51	24	0.32	100	1.35	41	0.55	69	0.93	8	0.11	51	0.69	-	-
栃木県	-	-	18	0.39	14	0.30	68	1.48	13	0.28	14	0.30	3	0.07	30	0.65	1	0.02
群馬県	-	-	69	1.11	21	0.34	102	1.65	34	0.55	8	0.13	19	0.31	41	0.66	-	-
埼玉県	2	0.01	103	0.70	41	0.28	303	2.05	64	0.43	82	0.55	40	0.27	106	0.72	1	0.01
千葉県	1	0.01	47	0.38	33	0.26	235	1.88	49	0.39	67	0.54	35	0.28	79	0.63	7	0.06
東京都	-	-	45	0.32	24	0.17	210	1.48	35	0.25	55	0.39	25	0.18	64	0.45	-	-
神奈川県	-	-	47	0.24	52	0.26	271	1.36	45	0.23	115	0.58	37	0.19	125	0.63	2	0.01
新潟県	-	-	46	0.77	38	0.63	83	1.38	27	0.45	67	1.12	10	0.17	37	0.62	-	-
富山県	-	-	8	0.28	27	0.93	127	4.38	16	0.55	43	1.48	10	0.34	25	0.86	-	-
石川県	-	-	9	0.31	14	0.48	75	2.59	10	0.34	26	0.90	9	0.31	18	0.62	-	-
福井県	-	-	33	1.50	20	0.91	147	6.68	41	1.86	39	1.77	1	0.05	14	0.64	-	-
山梨県	1	0.02	8	0.32	10	0.40	53	2.12	13	0.52	8	0.32	3	0.12	6	0.24	1	0.04
長野県	-	-	49	0.89	27	0.49	145	2.64	22	0.40	137	2.49	14	0.25	37	0.67	-	-
岐阜県	-	-	38	0.72	12	0.23	61	1.15	25	0.47	10	0.19	-	-	32	0.60	3	0.06
静岡県	-	-	56	0.65	29	0.34	279	3.24	52	0.60	71	0.83	12	0.14	80	0.93	-	-
愛知県	-	-	56	0.31	73	0.40	402	2.21	77	0.42	45	0.25	30	0.16	133	0.73	4	0.02
三重県	-	-	18	0.40	11	0.24	169	3.76	20	0.44	28	0.62	8	0.18	48	1.07	-	-
滋賀県	-	-	27	0.82	7	0.21	29	0.88	14	0.42	19	0.58	2	0.06	29	0.88	-	-
京都府	-	-	13	0.17	16	0.21	174	2.29	33	0.43	62	0.82	6	0.08	27	0.36	3	0.04
大阪府	-	-	58	0.30	75	0.38	418	2.14	85	0.44	112	0.57	17	0.09	120	0.62	5	0.03
兵庫県	-	-	22	0.17	56	0.44	256	2.00	46	0.36	144	1.13	12	0.09	79	0.62	2	0.02
奈良県	-	-	13	0.37	19	0.54	96	2.74	20	0.57	13	0.37	3	0.09	14	0.40	3	0.09
和歌山県	-	-	6	0.19	21	0.68	83	2.68	36	1.16	17	0.55	2	0.06	28	0.90	-	-
鳥取県	-	-	5	0.26	24	1.26	67	3.53	14	0.74	4	0.21	3	0.16	18	0.95	-	-
島根県	-	-	11	0.48	4	0.17	73	3.17	1	0.04	7	0.30	-	-	27	1.17	-	-
岡山県	-	-	21	0.39	19	0.35	161	2.98	32	0.59	22	0.41	4	0.07	39	0.72	-	-
広島県	-	-	53	0.71	23	0.31	279	3.72	22	0.29	23	0.31	11	0.15	69	0.92	-	-
山口県	-	-	26	0.53	22	0.45	145	2.96	18	0.37	38	0.78	1	0.02	65	1.33	-	-
徳島県	-	-	13	0.57	18	0.78	78	3.39	14	0.61	4	0.17	1	0.04	22	0.96	-	-
香川県	-	-	8	0.25	19	0.59	84	2.63	12	0.38	10	0.31	5	0.16	39	1.22	-	-
愛媛県	-	-	22	0.56	24	0.62	166	4.26	17	0.44	43	1.10	1	0.03	42	1.08	-	-
高知県	-	-	47	1.52	21	0.68	41	1.32	8	0.26	31	1.00	4	0.13	13	0.42	-	-
福岡県	-	-	29	0.24	78	0.65	392	3.27	81	0.68	299	2.49	19	0.16	141	1.18	3	0.03
佐賀県	-	-	15	0.65	16	0.70	33	1.43	24	1.04	56	2.43	4	0.17	26	1.13	-	-
長崎県	-	-	23	0.52	14	0.32	95	2.16	27	0.61	62	1.41	10	0.23	35	0.80	-	-
熊本県	-	-	65	1.33	32	0.65	131	2.67	32	0.65	83	1.69	3	0.06	60	1.22	-	-
大分県	-	-	11	0.31	28	0.78	210	5.83	17	0.47	109	3.03	13	0.36	49	1.36	-	-
宮崎県	-	-	50	1.39	39	1.08	195	5.42	44	1.22	85	2.36	9	0.25	56	1.56	-	-
鹿児島県	-	-	23	0.41	26	0.46	192	3.43	36	0.64	109	1.95	5	0.09	44	0.79	1	0.02
沖縄県	-	-	22	0.65	19	0.56	16	0.47	12	0.35	34	1.00	2	0.06	22	0.65	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年34週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	33	0.01	2557	0.85	22	0.01	2729	0.90	20	0.03	623	0.98	8	0.02	43	0.09	105	0.22
北海道	3	0.02	181	1.27	1	0.01	89	0.62	-	-	28	0.97	-	-	1	0.04	11	0.48
青森県	1	0.02	103	2.45	3	0.07	17	0.40	-	-	11	1.00	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	48	1.30	-	-	7	0.19	-	-	22	1.83	-	-	2	0.10	4	0.20
宮城県	-	-	99	1.68	-	-	20	0.34	-	-	7	0.64	1	0.08	-	-	4	0.33
秋田県	1	0.03	106	3.03	-	-	2	0.06	-	-	2	0.29	-	-	-	-	6	0.86
山形県	-	-	40	1.33	-	-	39	1.30	-	-	7	0.88	-	-	1	0.10	9	0.90
福島県	-	-	104	2.17	-	-	22	0.46	-	-	18	1.50	-	-	2	0.29	5	0.71
茨城県	2	0.03	65	0.88	2	0.03	22	0.30	1	0.06	29	1.81	-	-	-	-	6	0.55
栃木県	-	-	26	0.57	-	-	17	0.37	-	-	12	1.00	-	-	1	0.14	1	0.14
群馬県	-	-	54	0.87	1	0.02	59	0.95	-	-	45	3.21	2	0.20	-	-	2	0.20
埼玉県	1	0.01	127	0.86	1	0.01	202	1.36	-	-	29	0.78	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	120	0.96	-	-	164	1.31	4	0.12	23	0.70	-	-	-	-	-	-
東京都	4	0.03	73	0.51	1	0.01	77	0.54	-	-	15	1.07	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	1	0.01	128	0.64	3	0.02	126	0.63	1	0.02	29	0.69	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	104	1.73	-	-	60	1.00	-	-	2	0.22	-	-	2	0.15	9	0.69
富山県	-	-	35	1.21	-	-	12	0.41	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	5	0.17	-	-	6	0.21	-	-	2	0.29	-	-	1	0.20	1	0.20
福井県	-	-	12	0.55	-	-	45	2.05	-	-	3	1.00	-	-	2	0.33	-	-
山梨県	-	-	27	1.08	1	0.04	8	0.32	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.20
長野県	-	-	83	1.51	-	-	29	0.53	-	-	6	0.55	-	-	2	0.18	7	0.64
岐阜県	-	-	50	0.94	-	-	125	2.36	1	0.08	16	1.33	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	101	1.17	-	-	110	1.28	1	0.05	12	0.60	-	-	3	0.30	-	-
愛知県	4	0.02	80	0.44	1	0.01	272	1.49	1	0.03	31	0.89	-	-	2	0.15	3	0.23
三重県	-	-	25	0.56	-	-	26	0.58	1	0.08	5	0.42	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	1	0.03	23	0.70	-	-	18	0.55	-	-	2	0.29	-	-	2	0.29	2	0.29
京都府	5	0.07	31	0.41	-	-	45	0.59	1	0.06	15	0.83	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	1	0.01	95	0.49	2	0.01	255	1.31	-	-	31	0.63	1	0.07	3	0.20	1	0.07
兵庫県	1	0.01	79	0.62	1	0.01	100	0.78	2	0.06	25	0.71	1	0.08	3	0.25	-	-
奈良県	-	-	12	0.34	-	-	17	0.49	-	-	9	1.00	-	-	1	0.17	2	0.33
和歌山県	1	0.03	12	0.39	-	-	55	1.77	-	-	3	0.75	-	-	2	0.18	1	0.09
鳥取県	-	-	13	0.68	-	-	2	0.11	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	15	0.65	-	-	11	0.48	-	-	-	-	-	-	2	0.25	-	-
岡山県	2	0.04	23	0.43	-	-	40	0.74	-	-	12	1.00	-	-	-	-	4	0.80
広島県	-	-	58	0.77	1	0.01	62	0.83	2	0.10	34	1.70	1	0.05	1	0.05	3	0.16
山口県	-	-	61	1.24	-	-	64	1.31	-	-	14	1.56	-	-	-	-	9	1.00
徳島県	-	-	15	0.65	-	-	5	0.22	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	28	0.88	-	-	31	0.97	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	30	0.77	-	-	33	0.85	3	0.43	32	4.57	1	0.17	-	-	-	-
高知県	-	-	35	1.13	-	-	16	0.52	-	-	2	0.67	-	-	1	0.11	3	0.33
福岡県	1	0.01	69	0.58	1	0.01	237	1.98	-	-	15	0.58	1	0.07	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	18	0.78	-	-	88	3.83	-	-	3	0.75	-	-	2	0.33	1	0.17
長崎県	-	-	13	0.30	-	-	8	0.18	1	0.13	5	0.63	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	34	0.69	2	0.04	27	0.55	-	-	8	0.89	-	-	3	0.20	2	0.13
大分県	-	-	37	1.03	1	0.03	20	0.56	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	19	0.53	-	-	14	0.39	-	-	7	1.75	-	-	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	-	-	30	0.54	-	-	15	0.27	1	0.14	8	1.14	-	-	1	0.08	1	0.08
沖縄県	2	0.06	11	0.32	-	-	10	0.29	-	-	30	3.00	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年34週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	1	0.00	28
北海道	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	1	0.08	5
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	...
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	...
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	1	0.07	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	8

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第34号 平成16年9月3日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。